

厚生労働省 令和2年度 慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業  
～「動機づけ面接」講演のご案内～

拝啓

寒冷の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

福島県立医科大学 疼痛医学講座が取り組んでいる「厚生労働省 令和2年度慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業」につきまして、本年度の事業では東北6県の幹事の先生方にご協力を頂き、オンラインでの講演会・研修会を開催して参りました。

今年度は初めてのオンライン開催のため、不安も大きい中での開催でしたが、どの回も定員を超えるお申込みを頂きました。お申込み頂いた皆様には、あらためて御礼申し上げます。

さて、今年度はもう一つ、講演会を企画致しました。

モデル事業の一環として毎年開催している、札幌学院大学人文学部教授 北田雅子先生による「動機づけ面接」講演です。

慢性疼痛の問題を抱える患者様への対応はもちろんのこと、日常の臨床現場で活用できるノウハウが詰まった講演です。是非、皆様にご聴講頂き参考にして頂けますと幸いです。（※講演会詳細は同封の講演会案内をご覧ください。）

今後、診療モデルの構築及び治療技術の向上に向けて、東北の皆様方と取り組んでいければ、と考えております。

なお、本事業に関する問い合わせ先は、福島県立医科大学疼痛医学講座担当：高槻 ([kozumage@fmu.ac.jp](mailto:kozumage@fmu.ac.jp)) になっております。メールでお問い合わせください。

敬具

2021年1月

福島県立医科大学  
整形外科講座・疼痛医学講座  
矢吹省司

# [ 動機づけ面接 ] 講演会

## ● 動機づけ面接法(以下MI)とは？

問題飲酒や薬物などの依存症治療から実証研究を経て開発された面談スタイルです。

MIにおける「動機づけ」は動機“づけ”ではなく、変化のための動機づけはクライアント自身から引き出します。MIの特徴は、人の行動が変わる背景にある両価性(変わりたいけど変わりにくい)を丁寧に扱い、個々人の内的動機や価値観を引き出し、行動変容の準備段階に合わせ、変化の方向へ導く「協働型」のスタイルであり、援助者側からの情報提供を主体とした指導、強制や説得という「指導型」とは異なります。来談者中心療法と目的志向性を併せ持ち、なおかつクライアントとの協働的なスタイルであるMIは、これまでの実証的なエビデンスの集積結果から、指導型よりも介入効果が高いことが示されています。

[ 司会 ] 伊達 久 先生 (仙台ペインクリニック 院長)

## 講演 1 - 『慢性疼痛に対する動機づけ面接』

[ 講師 ] 笠原 諭 先生



- 福島県立医科大学疼痛医学講座 / 東京大学附属病院麻酔科痛みセンター
- 動機づけ面接調査研究所 理事
- 麻酔科標榜医 精神保健指定医 日本精神神経学会 精神科専門医
- 臨床心理士 / 公認心理士

著書 「しつこい痛みは「日記」である」「腰痛は脳で治す！」  
「長引く腰痛は“脳の錯覚”だった 名医が教える最新の腰痛改善・克服法」

## 講演 2 - 『患者さんの気づきを促し 自己決定を促す関わり方』

[ 講師 ] 北田 雅子 先生



- 札幌学院大学 人文学部 Prof. PhD
- 動機づけ面接調査研究所 代表 ● 日本臨床コーチング 幹事
- MINTトレーナー Member of Motivational Interviewing Network of Trainers

著書 「医療スタッフのための動機づけ面接法 逆引き学習帳」  
「医療スタッフのための動機づけ面接 糖尿病などの生活習慣病におけるMI実践」

2021年 ..... Zoom 開催

2月14日(日)

14:00~16:00 ※13:30開場

参加  
無料

参加申込方法

以下のフォームより  
事前参加申込みをお願い致します。

<https://forms.gle/Yadief1sUqAv8u828>

参加申込期間

2021年2月8日(月)まで



受講対象 慢性疼痛患者さんに関わる職種の方々  
\*東北地区に限る\*

アクセス方法につきましては、参加申込後、  
別途メールにてご案内させていただきます。